

(様式第 2 号)

SDGs 達成に向けた宣言書 (要件 1)

2023 年 6 月 29 日

所在地 山梨県甲府市丸の内 2-18-7
企業名 日本たばこ産業株式会社 山梨支社
代表者 奈良 忠克

当社は、SDGs の内容を理解し、SDGs 達成に向けた方針及び取組を下記のとおり宣言します。

記

SDGs 達成に向けた経営方針等

JT グループは、国連で採択された持続可能な開発目標 (SDGs) 及び当社事業や事業環境に関わる SDGs の目標を支持しており、事業活動を通じて、関連する以下の目標の実現に貢献してまいります。持続可能な事業への取り組みと、関連する SDGs の目標を特定しており、各事業が最も貢献できるのは、次の 9 つの SDGs です。(3/8/10/11/12/13/15/16/17)

3 側面 (主な分野に☞)	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標	重点的な取組及び 指標の進捗状況	
			登録年月日:	(進捗率)
☑環境 ☑社会 □経済	<u>地域社会への貢献</u> 包摂的かつ持続可能な地域社会の発展のために、国内外の様々な団体との長期的なパートナーシップを通じ、コミュニティインベストメントプログラムを実施しています。	2015 年から 2030 年の間に、600 億円の投資を行い、従業員が 30 万時間のボランティア活動に従事することを目指します。		(進捗率)
☑環境 ☑社会 ☑経済	<u>温室効果ガス排出量</u> 2030 年までに JT グループの事業においてカーボンニュートラルを実現し、2050 年までにバリューチェーン全体で温室効果ガス (GHG) 排出量をネットゼロにします。	2030 年までに、Scope1 および 2 における GHG 排出量を 47%、Scope3 の葉たばこおよび NTM*3 の調達に関連する GHG 排出量を 28%削減します。(基準年: 2019 年)		(進捗率)
□環境 ☑社会 ☑経済	<u>ゼロ労災</u> 業務上におけるあらゆる怪我や病気を防ぐため、健康で安全な職場環境を提供します。	労働災害ゼロを目指し、労働災害件数を 2023 年までに 25%、2030 年までに 50%削減します。(基準年: 2015 年)		(進捗率)

2030年の目指す姿

自然や社会と人の暮らしはつながっており、自然や社会の持続性があるのはじめて人の暮らしや企業の活動も持続的となるという考えのもと、4S モデルの追求を経営理念とする JT グループとして、JT Group Purpose の具現化を通じて持続可能な自然や社会づくりに貢献していくために、特定した 5 つの JT Group Materiality に取り組んでいきます。

自然との共生/お客様の期待を超える価値創造/人材への投資と成長機会の提供/責任あるサプライチェーンマネジメント/良質なガバナンス

【記載留意点】

- ・上記については「SDGs 達成に向けた経営方針等」を記載いただくとともに、（様式第 3 号）「SDGs 達成に向けた取組チェックリスト」（要件 2）に記載いただいた取組を踏まえ、「SDGs 達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は、原則として数値目標を記載してください。
- ・「環境」、「社会」、「経済」の **3 側面の全てについて**重点的な取組を記載してください。該当する分野にチェックを入れ、取組が複数の分野にまたがる場合は、複数にチェックを入れてください。
- ・重点的な取組及び指標の進捗状況については、新規登録時は記入不要です。